

●傾斜地では足場を確認

なぜ？

1. 傾斜地では、足元が滑りやすく、崩れることもあります。傾斜地で転倒し、刈刃に触れて怪我をする事故も多発しています。
2. 高低差のある畦畔、水路、堤防等の法面は、傾斜地が多く特に注意が必要です。

ヒヤリ、事故

1. 急傾斜地法面を草刈り中、足が滑って転倒した。
2. 傾斜地の畑で草刈り中、肩に刈払機を掛けたまま、滑り落ちた。
3. 畦畔の草刈で、足元近くを刈る時、右足の指を切った。
4. 笹、小木の刈払い中に滑って転倒した。その時顔をぶつけて負傷した。
5. 高さ3mほどの法面で草刈中、足を滑らせた際、刈刃が切り株に当たって跳ね返り、右足の甲に刈刃が接触し怪我をした。



そこで…

対策ポイント

1. 滑り止め付きの靴を履き、転倒しないように一歩ずつ足場を確認しながら作業します。
2. 傾斜地では、足場を確保しながら等高線方向に作業します。
3. 複数で作業を行う場合は、15m以上の間隔を置きながら作業します。傾斜地では、傾斜の上下位置での作業は危険です。

さらに！

追加のヒント

1. 非常時に肩掛けベルトから機械をすぐ切り離せるように練習しておきます。
2. 刈刃をヒザより高く持ち上げると、顔面に飛散物が衝突する可能性が高くなります。刈刃をヒザより下げて作業します。